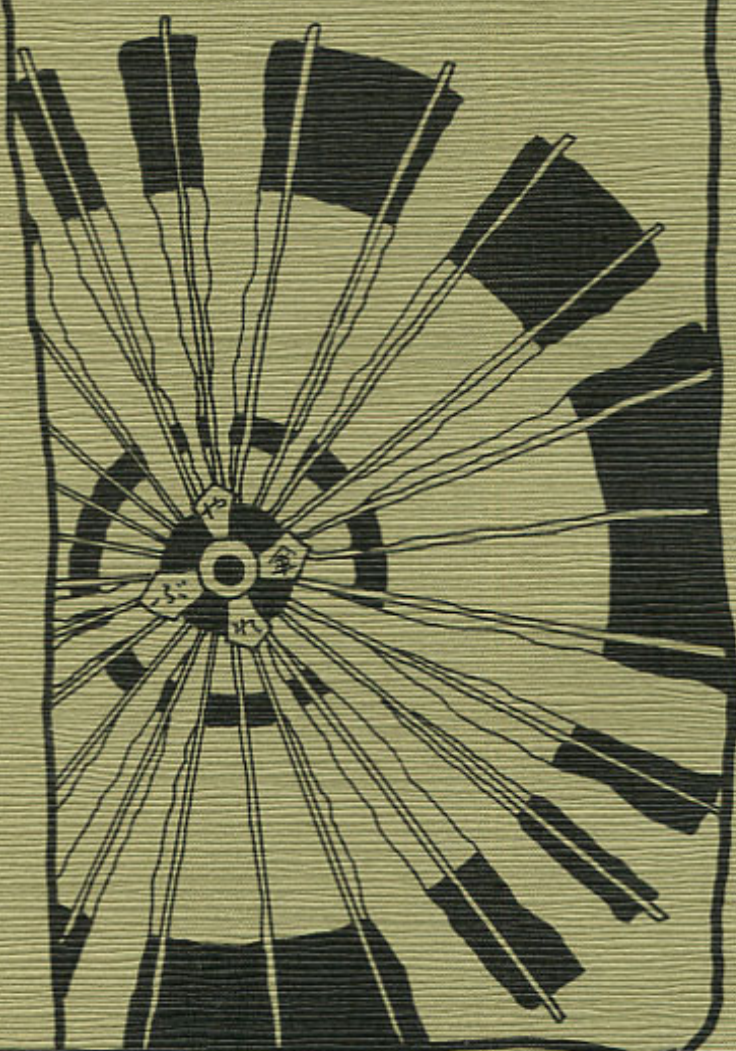


やぶれ傘

八十号

二〇二四年十月



鎧戸を塗り替へてゐる秋の昼

根橋宏次

雲なきにしもあらずかな曼珠沙華

大鳥英昭

居酒屋の扉手で引く無月かな

きくちきみえ

芋の葉に時雨気配の風吹けり

廣瀬雅男

水の面につんと波紋や曼珠沙華

丑久保 勲

本堂へ一直線の道の秋

白石正躬

箱庭に並ぶ電信柱かな

瀬島酒望

石垣に雲母^{きんぼ}ひかれり秋の風

藤井美晴

秋涼の浜に足あとと虚貝

安藤久美子

鷹の羽の並び立つ紋盆提灯

久世孝雄

雨空の明るみはじめ稲の花

渡邊孝彦

終バスを降りて家まで虫時雨

國保八江

背を向けてゴリラ動かぬ暑さかな

松村光典

銀河濃し夫の机に若菜集

忽那みさ子

町長の声のゆらゆら海開き

黒木東吾

抄 集 句 傘 れ ぶ や

大 崎 紀 夫 選

ヘルメットをころがし鷹^と鷹^ひの昼寝かな

小巻若菜

通りまでラードの臭ふ残暑かな

小山陽子

ジョギングや汗の背中の遠さかる

齋藤朋子

名ばかりの国道小さき栗の毬

齋藤 博

兄弟は二人となりて冷や奴

時田義勝

黒玉子つるりとむけて雲の峰

貫井照子

遠花火流木座りここちよく

松本正生

佃島くろがねもちの花は実に

村田 武

夕立のあとの匂へる田圃道

秋山信行

海ほほづき鳴らす葉山の海辺かな

有賀昌子

蟬の羽道に散らばり休暇果つ

岩藤礼子

書きかけの父の自伝や盆の月

大野芳久

庫裡裏の甕に紅蓮たかだかと

奥田温子

払ひたる手のひらに蠅当りけり

上林富子

学校の唱歌かすかに青田風

菊地葉子

秋の風

藤井美晴

せせらぎやすぼみかけたる白むくげ
閑伽桶の持ち重りたるあきあかね
秋暑し五百羅漢を巡り来て
石垣に雲^き母^らひかれり秋の風
薄紅葉短き和気ノ清麻呂伝
しなやかに揺れ山蘆忌のあをすすき
もらひ来しむかごを少し垣に蒔く
陶土搗く唐臼の音櫓もみぢ
木の実落つ昨日の雨の水溜り
鉄塔に灯が点滅す二日月

無花果

安藤久美子

首縦に振らぬ扇風機より風
羽箒西日の部屋に眠らせて
上げ潮や護岸工事に秋の来て
秋徽雨ガラスケースにバイオリン
無花果や電話のベルの遠く鳴る
飛蝗とぶまたとぶ風は日のにほひ
化粧箱入りの一房黒葡萄
走り蕎麦延命そばと呼ばれゐて
秋涼の浜に足あと虚貝
窓の灯を遠く近くに星月夜

盆提灯

久世孝雄

溝 萩 や 塀 を 伝 は る 雨 し づ く
全 開 の 窓 へ 飛 び 込 む 蟬 時 雨
夏 の 果 て 白 き 河 原 の 朽 木 可 な
眼 は 本 に 手 は 枝 豆 を さ ぐ り け り
鷹 の 羽 の 並 び 立 つ 紋 盆 提 灯
吾 亦 紅 著 名 文 士 の 墓 の 脇
こ の 街 も 空 き 家 の 殖 え て ね こ じ や ら し
草 原 と 化 し た る 庭 や 飛 蝗 跳 ぶ
鍬 の 柄 に 顎 乗 せ 仰 ぐ 鰯 雲
お 互 ひ の 諸 と 南 瓜 を 交 換 す

神田川

渡邊孝彦

幌付きの船ゆく神田川の夏
午後の雨あがりつつく法師かな
雨空の明るみはじめ稲の花
早稲熟れて一反の田に重さうな
用水の堤の石に塩とんぼ
傘を干す二百二十日の晴間見て
田の隅に竹ざを積まれ水引草
曼珠沙華水口下に水たまり
ケーブルの駅より歩き秋薊
土手道へ畑のコスモスあふれいで

虫時雨

國保八江

急行の通り過ぎたる極暑かな
嘶家のはらりと脱ぎて夏羽織
一頻り鳴き次の木へ法師蟬
寺の庭掃き残しある夏落葉
水門へ狗尾草の川原ゆく
後ろ手に門扉を閉めて鰯雲
いつの間にか雨の花野となりけり
終バスを降りて家まで虫時雨
味噌蔵の在りし辺りに昼の虫
庭続きの畑に一列鶏頭花

竹刀背に

松村光典

背を向けてゴリラ動かぬ暑さかな
地下道に涼しさ覚ゆけふの朝
夏の朝息子の寢息ありにけり
藤棚のつる伸び放題終戦日
戸を出れば夕蟬の声ありにけり
足首の後ろにとまる蚊の二匹
雨に啼くみんなみん蟬のありにけり
戸に当たり柱に当たる秋の蟬
みんなの声切れ切れに小糠雨
竹刀背に地下鉄出れば居待月

移りゆく雲の色なり青田風
 ゆつたりとゆつたりと雲蓮真白
 芋穀たきをれば海風とどく路地
 棚経の短かしぽつりぽつと雨
 銀河濃し夫の机に若菜集
 蔓引いて庭の夕風ふやしけり
 境内をよぎる近道樗の実

忽那みさ子

町長の声のゆらゆら海開き
 海の日はや母を見舞ひて寺泊
 雷鳴はBGMと酒を酌む
 群雲のつぎつぎと立つ夏の果
 星空をちぎれ雲飛ぶ野分後
 墓石の裏に回れば名残りの蚊
 虫捕りの網の輪つかに赤とんぼ

黒木東吾

小池一司

車^お前^{まへ}草^この踏^ふまれて土^ど手^ての道^{みち}細^こし
忘^われられて日^ひ陰^{かげ}に茗^{めい}荷^か咲^さきにけり
作^{さく}務^む衣^い着^きて和^わ尚^{しょう}出^でてくる萩^{はぎ}の花^{はな}
受^うくる手を余^よ所にこぼる零^{れい}余^よ子^こかな
蟪^{かい}蛄^この透^とき徹^{てつ}る目^めと合^あひにけり
地^な震^ありて目を覚^さまされし夜^や寒^{かん}かな
病^び院^{いん}の中^{なか}庭^{てい}にある薄^{はく}紅^{こう}葉^{えつ}

小巻若菜

上^{かみ}弦^{げん}の月^{つき}白^{しろ}くして合^あ歡^{くわん}の花^{はな}
ヘルメットをころがし鳶^と職^{しやく}の昼^{ひる}寝^ねかな
自^じ転^{てん}車^{しゃ}でゆく子^こらの声^{こゑ}夏^{なつ}の空^{そら}
白^{しろ}蓮^{れん}のひらく頃^{とき}かと寺^{てら}に寄^よる
電^{でん}波^ぱ塔^{たつ}灯^{とう}りはじめて盆^{ぼん}の市^{いち}
ハート形の切^き手^て貼^はりある秋^{あき}の文^{ぶん}
テールブルに言^{こと}伝^{つた}秋^{あき}の一^{ひと}筆^{ふで}箋^{せん}

◇ 11月・12月の句会案内

月	日	時	句会名	会場	連絡先
11月	4日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	國保八江
	4日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島 孟
	5日(水)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	7日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	7日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	15日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	22日(土)	AM10:00	棄天会	中央公民館	廣瀬雅男
	23日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
12月	1日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	2日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	國保八江
	2日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島 孟
	5日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	5日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	20日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	21日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	上野動物園	丑久保 勲
	27日(土)	AM10:00	棄天会	中央公民館	廣瀬雅男
	28日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室

(注) ぎんなん会は奇数月は第1水曜、偶数月は第1月曜です。

12月21日(日)の吟行。集合は10時。集合場所はJR上野駅公園口改札口(東京文化会館の前です)。吟行地は上野動物園。句会場は滝野川会館403集会室。

◎ 連絡先 瀬島 孟 ☎ 048-862-2757 藤井美晴 ☎ 0422-55-2733
 大島英昭 ☎ 048-592-5041 WEP編集室 ☎ 03-5368-1870
 廣瀬雅男 ☎ 048-443-7522 浦和コミセン ☎ 048-887-6565
 丑久保 勲 ☎ 048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ